

1. 数値目標の設定

R9（目標値）	目標値設定理由
830万人泊	<p>○当圏域の宿泊者数83%（R5）を占める仙台市のR9の目標値（中間案）が、680万人泊となった。</p> <p>○一方で、仙台市以外の管内市町村については、各委員や市町の意見、ホテル稼働率の向上（※1）及び新規ホテル建設（※2）、大規模イベントの開催やインバウンド（※3）、教育旅行等の増加により、今後宿泊者数の増加が見込まれることから、中間案時の目標値どおり150万人泊とする。</p> <p>○仙台市の目標値680万人泊と、その他市町村の目標値150万人泊を合わせて、圏域の目標値を830万人泊とする。</p>

※1：R5年度の宮城県の宿泊施設稼働状況は58.3%（全国10位）で今後も宿泊者増加の余地有り（観光庁「宿泊旅行統計調査2023年（確定値）」）。

※2：R6年度、利府町に約200室のホテルが新設。 ※3：R6年度も仙台空港発着の国際便が新規就航開始。

2. 委員及び市町村からの意見等

委員及び市町村名	具体的な数値等	意見及び要望等
林委員	1,000万人泊	<ul style="list-style-type: none"> ・850万人泊は、予想値。施策を打って目標を達成する意気込みが見えない。1,000万人泊を目指すぐらいの勢いでやるべき。 ・例えば、インバウンド。東北に来ているのは1%程度で伸びしろがある。円安傾向、日本人気継続。東京の宿泊費は非常に高いこともあり、間違いなく遠方にも来ると思う。
布田委員	(850万人泊より少な目)	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県の宿泊施設は、実際のところ、従業員の数が少なく定休日を設けていたり、老舗ホテルが廃業を見込んでいたりという話も聞いているので、この数値目標が順調に伸びていけばよいが、どうなのかなということを不安に思う。
仙台市	-	<ul style="list-style-type: none"> ・本市では、2027年に680万人泊を達成することを目標とする予定。
名取市	(850万人泊より多く)	<ul style="list-style-type: none"> ・R7～R9の対前年比105%はたしかに低い目標のような気がする。 ・宿泊税を導入し、新たな施策を展開していくことを考えると、その分として「〇%増を見込む」という部分が必要だと思う。
松島町	-	<ul style="list-style-type: none"> ・都市部（仙台市）と地方（松島町）は回復率について1割以上の格差がある。都市部へ集中することなく広域での目標数値の達成をお願いする。

3. 数値目標の変更のイメージ図



